

平成28年度行政事業レビューシート(法務省)

事業名	矯正の企画調整の実施			担当部局庁	矯正局			作成責任者		
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課			総務課長 島 孝一		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律等			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	矯正施設に対する本省の企画調整機能として、①各刑事施設、少年院及び少年鑑別所の視察委員会の円滑な運営を図る、②矯正施設の医師を目指す医学生に対する支援を行う、③PFI事業等の官民協働運営事業の安定的な運用を図ることで、矯正施設の適正な施設運営を目的としている。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	①刑事施設、少年院及び少年鑑別所には、施設の運営の透明性を確保し、国民に理解され、支えられる施設を維持することを目的として、地域住民や外部有識者等を構成員とする、刑事施設視察委員会、少年院視察委員会及び少年鑑別所視察委員会が設置されている。 ②矯正施設の医師を確保することを目的として、「矯正医官修学資金貸与法」に基づき、大学卒業後に矯正施設の医療に従事する意思のある医学生に対する学費の補助を行っている。 ③刑事施設で実施しているPFI事業等について、事業運営を行うことによって生じる事業者とのリスク分担などに関する諸問題を解決し、運営の適正化を図っている。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算の状況	当初予算	104	108	161	134	-			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	104	108	161	134	0				
執行額	89	70	101	-						
執行率(%)	86%	65%	63%	-						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28年度	目標最終年度 -年度	
	刑事施設の運営の透明性を確保し、国民に理解され、支えられる矯正施設を維持するため、刑事施設1施設当たり年間6回、少年施設においては年間4回適正に開催する。	視察委員会の実施回数	成果実績	回	6.2	6.2	10.2	-	-	
			目標値	回	6	6	10	10	-	
			達成度	%	103.3	103.3	102	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	矯正の企画調整機能として、刑事施設及び少年施設の視察委員会を実施する。(実施延べ施設数)	活動実績	施設	77	77	176	-			
		当初見込み	施設	77	77	176	176			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	矯正施設の医師を目指す医学生に対する支援を行う。(医学生に対する学費の補助件数)	活動実績	件	3	3	2	-			
		当初見込み	-	-	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	実績額/矯正施設の視察委員会年間延べ開催回数(委員は4名から10名で構成)(円/回)	単位当たりコスト	円	60,690	66,416	62,219	-			
計算式		千円/回	28,949/477	31,747/478	54,006/868	-				

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	委員手当	67	-	
	諸謝金・褒賞品費	3	-	
	職員旅費・委員等旅費	4	-	
	庁費	8	-	
	民間資金等活用事業調査費	45	-	
	貸費生貸与金	7	-	
	計	134	0	

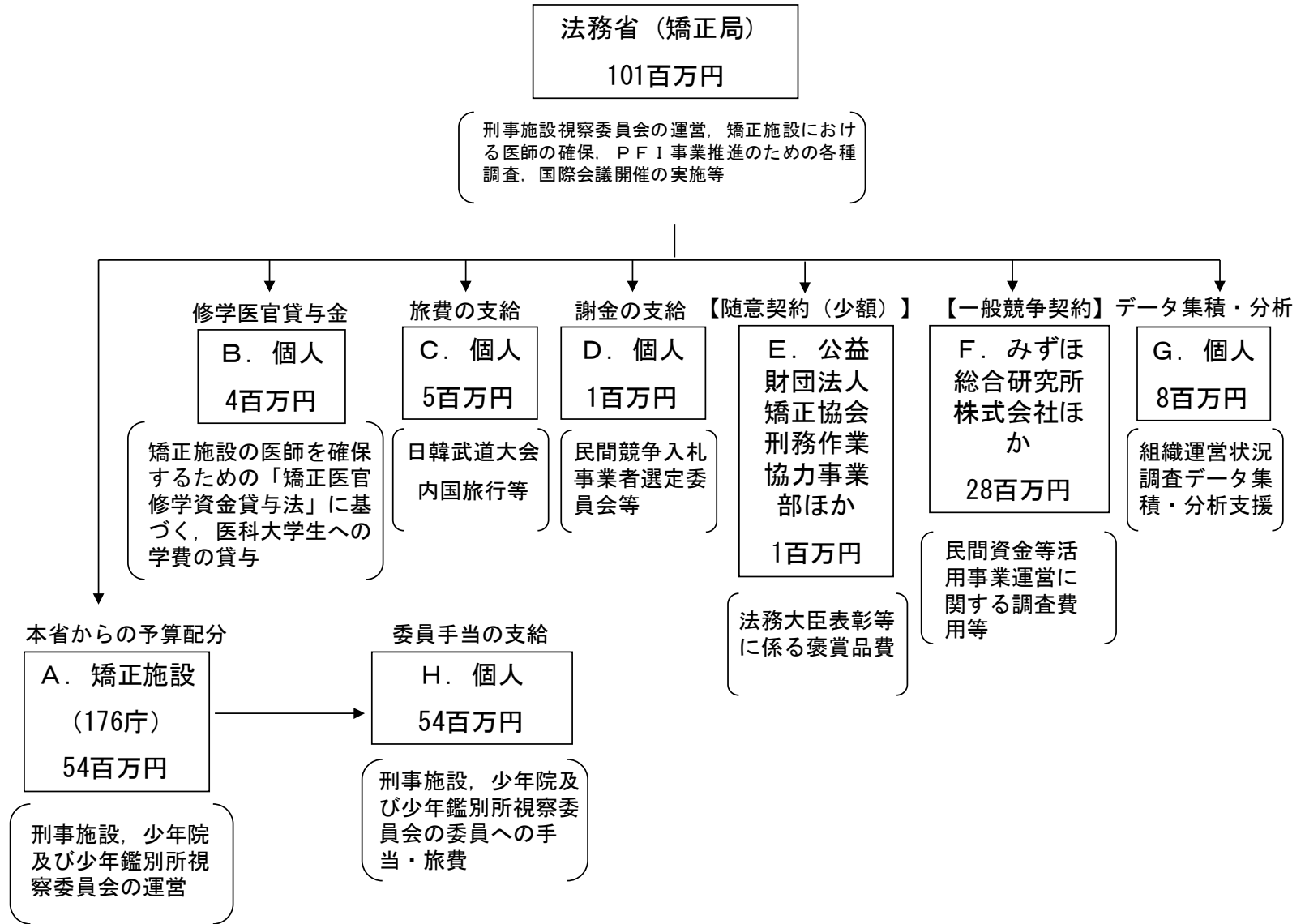
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	-										
		施策	-									
	測定指標		定量的指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	-											
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-							
			(第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-		
目標値		-	-	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	矯正施設の適正な運用等に資するための事業であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	同上
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	同上
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	原則として一般競争入札を利用するなど、競争性を確保しながら支出先を選定しているが、これらのうち、契約額が6百万円の奈良少年刑務所赤れんが建造物の保存・活用並びに未決区等の整備方法に関する調査につき、一者応札であったため、仕様の見直しなどについて検討するなど、次回の入札に向けて改善の検討を進める。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	矯正施設の適正な運用等に資するための事業である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	矯正施設の適正な運用等に資するための事業であり、事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	委員のうち地方公共団体職員等が委員等手当の受取を辞退する場合等の不支給が要因である。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	矯正施設の適正な運営のために開催される各視察委員会を年10回計画して達成しており、成果目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	矯正施設の適正な運営のために開催される各視察委員会を全矯正施設で実施しており、見込みに見合ったものである。

	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	<p>刑事施設視察委員会は、各刑事施設の収容規模等によって10名以内の委員で構成され、刑事施設の運営の透明性を確保等するため、刑事施設の視察、委員会の開催、被収容者との面接等がなされており、委員会からの意見を受け、改善が必要な場合は各刑事施設の長が適切な措置を講じている(平成27年度における意見及び改善措置を講じた件数については現在集計中。)</p> <p>なお、少年院及び少年鑑別所においても、新法の施行により、平成27年度から刑事施設と同様に7名以内の委員で構成される視察委員会を設置し、刑事施設同様、施設の視察、委員会の開催、被収容者との面接等がなされており、委員会からの意見を受け、改善が必要な場合は各施設の長が適切な措置を講じている(平成27年度における意見及び改善措置を講じた件数については現在集計中。)</p> <p>矯正施設の医師不足は深刻である中、平成27年度は新たに修学生になった者が1名おり、引き続き、矯正医官の確保に向けて検討する余地がある。</p> <p>PFI事業は、今後も安定した事業運営をする必要があることから、高度で専門的な知識を有する企業等から金融・企業経営等の専門的知識の支援を受けているものである。</p>				
	改善の方向性	<p>矯正施設の医師不足は深刻であることから、引き続き、矯正医官の確保に向けての検討を図る。</p> <p>PFI事業は、引き続き、高度で専門的な知識を有する企業等から金融・企業経営等の専門的知識の支援を受け、内容の充実を図る。</p>				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	0047	平成23年度	0043	平成24年度	0046	
平成25年度	0023	平成26年度	0019	平成27年度	0018	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位：百万円)

A.府中刑務所			B.個人A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
予算配分	刑事施設視察委員会等の運営	1	その他	修学医官貸与金	2
計		1	計		2
C.個人A			D.個人A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	外国旅費・内国旅費	1			
計		1	計		0
E.公益財団法人矯正協会刑務作業協力事業部			F.みずほ総合研究所株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			外部委託	民間資金等活用事業運営に関する調査費等	20
計		0	計		20
G.個人A			H.個人A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	データ集積・分析業務	4			
計		4	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	府中刑務所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	
2	大阪刑務所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	
3	東京拘置所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	
4	名古屋刑務所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	
5	福島刑務所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	
6	横浜刑務所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	
7	山形刑務所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	
8	黒羽刑務所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	
9	新潟刑務所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	
10	神戸刑務所	-	刑事施設視察委員会の運営	1	-	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	医科大生への学費貸与	2	-	-	-	
2	個人B	-	医科大生への学費貸与	2	-	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	外国旅費・内国旅費	1	-	-	-	
2	個人B	-	外国旅費・内国旅費	0.2	-	-	-	
3	個人C	-	外国旅費・内国旅費	0.2	-	-	-	
4	個人D	-	外国旅費・内国旅費	0.2	-	-	-	
5	個人E	-	外国旅費・内国旅費	0.2	-	-	-	
6	個人F	-	外国旅費・内国旅費	0.2	-	-	-	
7	個人G	-	外国旅費・内国旅費	0.2	-	-	-	
8	個人H	-	外国旅費・内国旅費	0.2	-	-	-	
9	個人I	-	内国旅費	0.2	-	-	-	
10	個人J	-	外国旅費・内国旅費	0.2	-	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	
2	個人B	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	
3	個人C	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	
4	個人D	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	
5	個人E	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	
6	個人F	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	
7	個人G	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	
8	個人H	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	
9	個人I	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	
10	個人J	-	刑事施設の運営業務に係る官民競争入札及び民間競争入札事業拡大措置検討委員会	0.1	-	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人矯正協会刑務作業協力事業部	2011205000014	贈呈用記念品の購入	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
2	三賞株式会社	1010001003181	贈呈用記念品の購入	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
3	株式会社船倉	8500001003571	贈呈用記念品の購入	0.1	随意契約 (少額)	-	-	
4	有限会社三章堂	2010002010093	贈呈用記念品の購入	0	随意契約 (少額)	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	みずほ総合研究所株式会社	5010001021403	PFI方式による刑事施設の運営事業等に関するモニタリング支援等業務	20	一般競争入札	2	61%	-
2	プライスウォーターハウスクーパース株式会社	-	奈良少年刑務所赤れんがが建造物の保存・活用並びに未決区等の整備方法に関する調査	6	一般競争入札	1	49.8%	-
3	ヒューマンコム株式会社	1011101018169	少年院法及び少年鑑別所法翻訳業務	2	一般競争入札	3	83.2%	-

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	組織運営状況調査データ集積・分析業務	4	-	-	-	
2	個人B	-	組織運営状況調査データ集積・分析業務	4	-	-	-	

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
2	個人B	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
3	個人C	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
4	個人D	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
5	個人E	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
6	個人F	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
7	個人G	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
8	個人H	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
9	個人I	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
10	個人J	-	刑事施設視察委員会への手当等の支給	0.1	-	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							<input type="checkbox"/>	チェック